

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月12日

上場会社名 油研工業株式会社
 コード番号 6393 URL <http://www.yuken.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

(氏名) 向出 靖弘
 (氏名) 永久 秀治

TEL 0467-77-2111

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
21年3月期第1四半期	7,388	—	558	—	661	—	354	—
20年3月期第1四半期	6,653	3.7	578	△1.5	709	39.2	387	16.2

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第1四半期	7.99		—	
20年3月期第1四半期	8.61		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		％	円 銭
21年3月期第1四半期	35,339		15,308		38.8	308.50
20年3月期	32,925		15,218		42.5	314.51

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 13,709百万円 20年3月期 13,977百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	7.00	7.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(％表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期連結累計期間	15,900	11.8	1,650	10.0	1,450	1.2	750	△12.9	16.87
通期	32,000	12.0	3,400	11.4	3,100	16.3	1,600	△9.2	36.00

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名)(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	45,106,764株	20年3月期	45,106,764株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	667,846株	20年3月期	665,640株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	44,440,167株	20年3月期第1四半期	44,997,293株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって、記載の予想と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、原油価格の高騰、米国経済の減速を背景に企業収益が減少し、個人消費が低迷するなど、景気の足踏み状態が続く展開となりました。

このような状況下、当社グループは、積極的な営業活動とコスト低減を推進し、売上と利益の確保に注力いたしました。また、国内外の幅広い顧客ニーズに対応するため、グループ会社のグローバルな供給体制、国際分業の確立を進め、高収益体質企業の基盤構築に取り組んでまいりました。

当第1四半期の連結業績は、国内外における拡販への注力と今期より従来の持分法適用関連会社であったユケン・インディアを連結子会社とした要因も加わり、売上高は73億8千8百万円と前年同期比増収となりました。

利益面では、原材料価格の値上がり、ユケンコウギョウ（H.K.）LTD.の受注減少などの影響で営業利益5億5千8百万円、経常利益6億6千1百万円、四半期純利益3億5千4百万円の計上となり前年同期比減益となりました。

所在地別セグメントの業績につきましては、日本は、売上高51億4千2百万円、営業利益5億6百万円となりました。アジアは、売上高21億4千万円、営業利益1億1千4百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、ユケン・インディアを連結子会社化した影響で前期末に比べ24億1千4百万円増加し、353億3千9百万円となりました。主なものは、流動資産では受取手形及び売掛金が7億4千8百万円増加、たな卸資産が8億6千2百万円増加、固定資産では有形固定資産が7億1千5百万円増加しております。

負債合計は、前期末に比べ23億2千4百万円増加し、200億3千1百万円となりました。ユケン・インディアの連結子会社化を主因に短期借入金が13億4千4百万円増加いたしました。

純資産合計は、前期末に比べ8千9百万円増加し、153億8百万円となりました。四半期純利益3億5千4百万円により利益剰余金が増加しましたが、評価・換算差額等が3億1千万円減少しております。

自己資本比率は、前期末に比べ3.7ポイント減少し、38.8%となりました。

（キャッシュ・フロー計算書）

営業活動によるキャッシュ・フローは2億1千8百万円の支出となっております。内訳の主なものは、減少要因としては、たな卸資産の増加4億6千1百万円、売上債権の増加3億7千6百万円等であり、一方、増加要因としては、減価償却費2億6百万円等であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは3億9千6百万円の支出となっております。これは主に有形固定資産の取得による支出3億6千9百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは5億6千8百万円の収入となっております。これは主に短期借入金純増5億6百万円等によるものであります。

この結果、前連結会計年度末と比較し、現金及び現金同等物の残高が1億7千3百万円減少しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、国内経済は原材料価格高騰で企業収益に下押し圧力がかかり、設備投資は慎重姿勢に転じております。また米国発の金融不安と原油高などによる世界経済の減速が懸念されるなど、企業環境の先行きは厳しい状況が予想されます。

当社グループは、引き続き国内外における需要旺盛な地域への積極的な拡販に注力するとともに引続き堅調な成長が見込まれる中国・アジア地域、インドへの積極的な展開を促進してまいります。

また、原材料価格高騰に伴う製品価格の是正や供給元の確保に努め、収益拡大に努めてまいります。

業績予想（平成20年5月15日発表）の見直しは行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②たな卸資産の評価方法

実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計算する方法によっております。

④法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

税金費用の計算については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

⑤未実現損益の消去

四半期連結会計期間末在庫高に占める当該棚卸資産の金額及び当該取引に係る損益率を合理的に見積って計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を適用し、棚卸資産の評価基準については、主として総平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。なお、これによる損益に与える影響はありません。

③当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。なお、これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,238,220	4,378,976
受取手形及び売掛金	13,896,362	13,148,268
有価証券	179,309	177,285
商品	123,464	119,890
製品	2,057,808	1,834,280
半製品	390,360	423,334
原材料	2,307,456	1,876,234
仕掛品	1,009,647	772,430
その他	1,138,467	856,099
貸倒引当金	△324,572	△329,716
流動資産合計	25,016,525	23,257,084
固定資産		
有形固定資産	5,607,388	4,891,541
無形固定資産	59,029	52,976
投資その他の資産		
投資有価証券	3,805,609	3,791,993
その他	868,531	949,381
貸倒引当金	△17,283	△17,283
投資その他の資産合計	4,656,857	4,724,091
固定資産合計	10,323,275	9,668,609
資産合計	35,339,801	32,925,694
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,437,535	7,355,693
短期借入金	2,974,841	1,630,202
未払法人税等	496,215	346,171
引当金	232,392	551,868
その他	1,843,154	985,373
流動負債合計	12,984,138	10,869,308
固定負債		
長期借入金	4,638,092	4,473,255
退職給付引当金	2,295,006	2,277,924
負ののれん	6,469	7,548
その他	108,000	79,504
固定負債合計	7,047,569	6,838,232
負債合計	20,031,707	17,707,540

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,109,101	4,109,101
資本剰余金	3,853,007	3,853,007
利益剰余金	5,875,529	5,831,665
自己株式	△229,265	△228,544
株主資本合計	13,608,373	13,565,230
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	549,735	425,550
繰延ヘッジ損益	59,359	45,845
為替換算調整勘定	△507,985	△59,595
評価・換算差額等合計	101,109	411,800
少数株主持分	1,598,610	1,241,122
純資産合計	15,308,093	15,218,153
負債純資産合計	35,339,801	32,925,694

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間

(自 平成20年4月1日

至 平成20年6月30日)

売上高	7,388,351
売上原価	5,459,575
売上総利益	1,928,775
販売費及び一般管理費	1,370,072
営業利益	558,703
営業外収益	
受取利息	8,722
受取配当金	20,985
為替差益	96,667
負ののれん償却額	1,078
その他	47,609
営業外収益合計	175,063
営業外費用	
支払利息	56,180
その他	16,435
営業外費用合計	72,616
経常利益	661,150
特別損失	
役員退職慰労金	21,350
特別損失合計	21,350
税金等調整前四半期純利益	639,800
法人税等	253,653
少数株主利益	31,194
四半期純利益	354,952

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	639,800
減価償却費	206,270
負ののれん償却額	△1,078
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,296
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	17,082
受取利息及び受取配当金	△29,707
支払利息	56,180
売上債権の増減額 (△は増加)	△376,974
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△461,114
仕入債務の増減額 (△は減少)	△172,893
その他	142,139
小計	22,000
利息及び配当金の受取額	29,707
利息の支払額	△38,703
法人税等の支払額	△231,775
営業活動によるキャッシュ・フロー	△218,770
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の売却による収入	32,755
有形固定資産の取得による支出	△369,332
投資有価証券の取得による支出	△51,799
貸付けによる支出	△4,000
貸付金の回収による収入	521
その他	△4,237
投資活動によるキャッシュ・フロー	△396,091
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	506,632
長期借入れによる収入	400,000
長期借入金の返済による支出	△282,263
自己株式の取得による支出	△721
配当金の支払額	△45,479
少数株主への配当金の支払額	△9,405
財務活動によるキャッシュ・フロー	568,763
現金及び現金同等物に係る換算差額	△127,888
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△173,987
現金及び現金同等物の期首残高	3,717,684
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	81,887
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,625,584

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

油圧機器事業に係る売上高および営業利益は、全事業に占める割合が、それぞれ90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しました。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	5,142,411	2,140,499	105,440	7,388,351	—	7,388,351
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,311,900	324,930	—	1,636,831	(1,636,831)	—
計	6,454,312	2,465,430	105,440	9,025,182	(1,636,831)	7,388,351
営業費用	5,948,067	2,351,298	93,336	8,392,702	(1,563,054)	6,829,648
営業利益	506,244	114,131	12,103	632,480	(73,776)	558,703

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

イ アジア……台湾、香港、インド

ロ その他……イギリス

3 営業費用のうち、「消去又は全社」の欄に含めた配賦不能の営業費用はありません。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	アジア	北米	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	2,620,254	79,660	82,279	49,330	2,831,524
II 連結売上高(千円)					7,388,351
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	35.4	1.1	1.1	0.7	38.3

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本国以外の国または地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

イ アジア……中国、台湾、韓国、インド

ロ 北米……アメリカ

ハ その他……イギリス

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第1四半期連結累計期間	
	(自 平成19. 4. 1 至 平成19. 6. 30)	
区分	金額	百分比(%)
売上高	6,653,825	100.0
売上原価	4,754,528	71.5
売上総利益	1,899,297	28.5
販売費及び一般管理費	1,320,642	19.8
営業利益	578,655	8.7
営業外収益	203,500	3.1
受取利息及び配当金	33,555	
為替差益	123,455	
その他	46,490	
営業外費用	72,180	1.1
支払利息	41,015	
その他	31,165	
経常利益	709,975	10.7
特別利益	—	—
特別損失	—	—
税金等調整前四半期(当期)純利益	709,975	10.7
法人税等	299,370	
少数株主利益	23,319	
四半期(当期)純利益	387,285	5.8